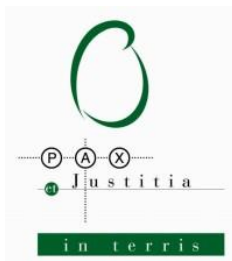


CATHOLIC DIOCESE OF NAGOYA  
2-6-35 AOI HIGASHI-KU  
NAGOYA, 461-0004 JAPAN  
TEL :81-52-935-2223  
FAX :81-52-935-2254  
EMAIL:curia@nagoya.catholic.jp



カトリック名古屋教区  
461-0004 名古屋市東区葵 2-6-35  
電話 :052-935-2223  
ファックス:052-935-2254  
Eメール:curia@nagoya.catholic.jp

2021年1月29日

石川地区  
信徒、修道者の皆さま

## 石川地区の宣教司牧体制について

教区司教 松浦悟郎

＋主の平和

今年の復活祭後に行われる人事異動で石川地区における宣教司牧体制が大きく変わりますので、皆さまに説明したいと思います。

これまで、北陸ブロックでは司祭集会を定期的に行う中で、司祭たちが北陸3県（福井、石川、富山）を横断的に動いて協力し合う体制が出来てきました。具体的には、ブラジル人司牧、ベトナム人司牧、青少年司牧の分野で司祭たちが3県をまたいでミサや集まりを行って来ました。一方、富山地区では4年前から3人の司祭が共同宣教チームとして県内のすべての小教区、巡回教会の司牧にあたって来ました。このような司祭たちの協力体制は、信徒たちの意識や関わり方に大きな変化をもたらし、さまざまな限界を抱える今の教会の中で新しい動きが見られるようになっていきます。

こうした経験の上に立って、この度、石川地区でも同じように司祭がチームとなって宣教司牧にあたる体制をとることとしました。この体制は、単に石川地区内のことだけでなく、北陸ブロック全体の動きにも深く関わってくると考えています。金沢教会は地理的にも、規模的にも3県のセンター的な役割を果たすことができるからです。

皆さまに発表した北陸ブロックにおける共同宣教司牧は下記の通り2つの地区です。（敬称略、通称名、下線はコーディネーター）

### 石川地区

共同宣教司牧チーム司祭	<u>九里彰</u> 、窄口松雄、片岡義博
協力司祭	チプリアーノ、ザンケッタ、ロー

### 富山地区

共同宣教司牧チーム司祭	<u>長谷川潤</u> 、小川満
協力司祭	片岡義博

\* 富山地区では、すでに共同宣教司牧体制で行ってきた方向性を継続するために、片岡神父を富山地区の協力司祭としました。

### 北陸ブロック

ブラジル人司牧担当	小川満
ベトナム人司牧担当	ロー
青少年担当	片岡義博

## 1. 石川地区・共同宣教司牧チームについて

チーム司祭はこれまでの主任司祭、助任司祭の関係ではなく、すべて主任司祭と同じ役割と権限を持つ対等なパートナーとなります。

協力司祭は、助任司祭的な役割を果たすこととなります。すなわち、チーム司祭たちの宣教司牧計画に協力していきます。

共同宣教司牧は、以下の形をとります。

- ① チーム司祭全員が、石川地区のすべての小教区と巡回教会に責任を持ちます。実際には担当する小教区をそれぞれ決めたととしても、最終的には全員で責任を持つということです。チーム司祭は誰でも結婚手続きや証明書の発行、またどの小教区の宣教司牧評議会にも同じ立場で出席し、その場で信徒とともに決断もできます。ただし、チームの合意が必要となるような重要事項については、その場での決定を保留することもあります。
- ② チーム司祭と協力司祭は宣教司牧計画を立て、定期的にチームミーティングを開き、石川地区内のすべての小教区の現状や課題の共有、役割分担をします。
- ③ チームの中ではコーディネーターを決め、その司祭が教区司教との窓口、チームミーティングの司会を務めます。主任ということではないので、チームの中で定期的に交代することもできます。

## 2. 居住について

当初、片岡神父も金沢教会と一緒に住まわせてもらうことを考え、カルメル会総長代理とも話し合いました。カルメル修道会側では、会としての修道院の性格と会員の共同体を保つ希望があることから、カルメル修道会司祭は三馬修道院に移り、そこから金沢教会に通うことになりました。そこで、チームとしての窄口神父と片岡神父、そして、北陸ブロックのベトナム人司牧のために動きやすくするために、ロー神父は金沢教会に移ることになりました。従って居住は以下の通りです。

<u>金沢教会司祭館</u>	窄口松雄、片岡義博、ロー
<u>三馬教会修道院</u>	九里彰、チプリアーノ、ザンケッタ

## 3. 各小教区

共同宣教司牧体制はまずは司祭側のことです。各小教区はこれまで通り、それぞれが責任を持って共同体の成長と宣教の使命を担っていきます。ただ、司祭側がチームとなって一緒に関わっていることから、小教区の壁をこえて協力し合うこと、たとえばキリスト教入門や聖書講座、黙想会、子どもや青年のための企画などを協力して実行しやすくなります。

### おわりに

このような体制を試みることができるのは、何よりも北陸ブロックの宣教司牧を担当してくださっていた3修道会の理解と北陸ブロックで働いている司祭たちでした。この場を借りてまず感謝したいと思います。また、今回は特に、カルメル修道会が石川地区、そして北陸地方全体のことを思って居住を三馬修道院に移すという提案を下されたことに敬意を表します。

また、金沢教会をはじめ、石川県の小教区の信徒の皆さまには、長年、カルメル修道会の司祭方にお世話になり、一緒に歩んできた長い歴史を思うと、このような変化に戸惑われることと思います。もちろん、実際には居住が移るだけで、これまで通りの関わりは続きます。これからは教区、修道会の司祭たちが、同じ地区で協力しあって共に福音宣教をしていくことになるのです。

今回の人事を通して司祭たちの協力、協働が深まり、信徒ともに新しい教会の姿を創造的に実現していけばと願っています。

感謝のうちに